

おめでとう20年! はばたけ! ジュニアボランティア!

民生委員・主任児童委員とともに区内の小学5・6年生が地域活動や福祉活動などを行う旭区独自の「ジュニアボランティア体験事業」は、今年で20年目を迎えます。参加してくれた小学生は、延べ4,000人以上! 1期生～現役小学生までの「ジュニアボランティア経験者」や支えていただいた皆さまに、当時の思い出や今思うことについてコメントを寄せていただきました。

☎ 954-6101 ☎ 953-7713



▲高齢者懇談会でソーラン節を踊るジュニアボランティア



▲赤い羽根共同募金活動

昨年参加して、募金活動などいろんな体験ができて、とても楽しかったです。今年も楽しみです!

20期生 池田 賢太さん

ジュニアボランティアってなに?

地域の小学生が、民生委員・主任児童委員と一緒に地域の福祉活動、地域活動に参加することで、福祉やボランティア活動への関心と理解を深めるという取り組みです。

【対象者】区内の市立小5・6年生(申込制)※今年度の募集は終了しました。

【活動内容】民生委員・主任児童委員と、赤い羽根共同募金、保育体験、高齢者との交流、防災訓練、地域行事への参加など

【参加人数】毎年約300人が参加。

多くの人に支えられ、20年という節目に立ち会えたことをとても嬉しく思います。これから子どもたちが大きく羽ばたくきっかけとなるよう、これまで受け継がれてきたこの事業を、子どもたちと共に大切にしていきたいと思っています。



旭区民生委員 児童委員協議会 会長 峰松 雅子さん

8月から12月まで、子どもたちと一緒に福祉活動に取り組んでいます。

旭区主任児童委員 連絡会 代表 入江 ゆきよさん

ジュニアボランティアの経験が今に生きています

一番印象に残っていることは、重りの負荷や視野が狭くなる眼鏡を着けて、高齢者体験をしたことです。体がうまく動かしづらくなり、いつもできていたことができなくなるのはとても大変だと思いました。その経験から、困っている人がいたら声をかけるよう心掛けています。現在、薬剤師として薬局に勤務していますが、高齢の人には、ゆっくりお話ししたり、薬を飲み忘れないよう、薬の管理の仕方について案内するなど、工夫しています。これから

も一人一人に寄り添った薬剤師を目指していきたいです。



1期生 石井 彩子さん

印象的だったことは、さまざまな人と出会えたことです。その時の楽しい思い出が忘れられず、中学生のとき二人でケアプラザにボランティア登録にいきました。高校生になってからも、「さくら祭り」や「ふる里まつり」など地域のお手伝いを通して、地域の人と一緒に楽しく活動することができました。

今年、高校を卒業した私たちですが、それぞれの進路に向かってこれからも頑張ります!



12期生 高平 里菜さん

12期生 河野 琴美さん

当時を振り返ると、保育体験など楽しい思い出ばかりでした。その体験がきっかけで、改めて私は子どもが好きなんだと思い、幼稚園教諭の道に進みました。

勤務して4年ほどたちますが、子どもは、思った以上に周りを見ていることに気がきました。これからボランティアなどで保育体験をする機会があったら、ぜひ一緒に楽しんであげてくださいね!



7期生 大島 えみ子さん

ジュニアボランティア体験を通して、困っている人の気持ちや大変さを知り、その人の目線に立ってみる大切さを知ることができました。

その後、福祉を学べる高校に進み、大学では、障害のある人をサポートするボランティアをしました。今は、発達障害のあるお子さんや環境への障害を感じている人へアプローチする仕事をしています。これからも相手の気持ちを大切に、自らのスキルを向上させ、いろいろな人との対話を大切にしていきたいです。



1期生 波多野 美穂子さん

地域に支えられて

活動を支えていただいている数多くの地域団体の一つである「つぶらの会」の皆さんからメッセージをもらいました。



▲つぶらの会の皆さん

高齢者の人を対象とした昼食会などでボランティアをしています。ジュニアボランティアのみんながソーラン節を披露してくれたとき、場がとっても華やかになったのが印象に残っています。私たちボランティアも元気をもらっているんですよ。

「思いやりと感謝の気持ちを育てほしい」という願いを込めて...

ジュニアボランティア体験事業の立ち上げに深く関わられた元旭区民生委員児童委員協議会会長の**大越 由美子さん**と前主任児童委員連絡会代表の**鈴木 敦子さん**に当時のお話を伺いました。

●事業を始めたきっかけを教えてください。

介護保険制度が始まった平成12年、改めて未来を担う子どもたちにも目を向けるべきなのではないか、との思いが高まり、私たちにも何かできることがないかと考えた結果、この事業を始めようと思いました。初めての取り組みなので、民生委員の役員は何度も小学校に足を運び、学校への説明を重ね、連携を図りました。最初の年が終了した時に、当時の校長先生から「来年もお願います」とおっしゃっていただいたことが今でも忘れられません。(大越)



▲大越 由美子さん

▲鈴木 敦子さん

●当時を振り返ってみたいかがですか。

初めての試みで、民生委員・主任児童委員同士、試行錯誤しながらの活動でした。また、子どもたちがけがをしてはいけないと、とにかく必死でした。でも、時を経て今、当時の子どもたちの感想文を見ると、相手の声に耳を傾ける子どもたちの姿が目に見え、改めて頑張ってたかったなと思いました。協力してくださった学校、地域、施設の皆さんには大変感謝しております。(鈴木)

●子どもたちに向けてメッセージをお願いします。

今回コメントを寄せてくれた皆さんのように、この経験が、子どもたちの心のなかに残るものであったらいいなと思います。これからもたくさんの子がジュニアボランティアを通して、困っている人に優しく手を差し伸べられる人になってくれたら嬉しいです。(大越)

民生委員・児童委員とは?

民生委員・児童委員は、誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、住民の相談相手、見守り活動や子育て支援を行っています。

現在旭区では、約300名の民生委員・児童委員が日々地域のために活動しています。民生委員・児童委員は、地域から推薦され厚生労働大臣から委嘱されます。本年は、任期満了に伴い、12月に一斉改選が行われます。各地区、ご協力をよろしくお願いいたします。

おめでとう20年!

はばたけ!

ジュニアボランティア!

民生委員・主任児童委員とともに区内の小学5・6年生が地域活動や福祉活動などを行う旭区独自の「ジュニアボランティア体験事業」は、今年で20年目を迎えます。参加してくれた小学生は、延べ4,000人以上! 1期生～現役小学生までの「ジュニアボランティア経験者」や支えていただいた皆さまに、当時の思い出や今思うことについてコメントを寄せていただきました。

☎福祉保健係 ☎954-6101 ☎953-7713



▲高齢者懇談会でソーラン節を踊るジュニアボランティア

ジュニアボランティアの経験

一番印象に残っていることは、重りの負荷や視野が狭くなる眼鏡を着けて、高齢者体験をしたことです。体がうまく動かさなくなり、いつもできていたことができなくなるのはとても大変だと思いました。その経験から、困っている人がいたら声をかけるよう心掛けています。現在、薬剤師として薬局に勤務していますが、ご高齢の人には、ゆっくりお話ししたり、薬を飲み忘れないよう、薬の管理の仕方について案内するなど、工夫しています。これから



も一人一人に寄り添った薬剤師を目指していきたいです。



1期生
石井 彩子さん

印象的だったことは、さまざまな人と出会えたことです。その時の楽しい思い出が忘れられず、中学生のとき二人でケアプラザにボランティア登録にいきました。高校生になってからも、「さくら祭り」や「ふる里まつり」など地域のお手伝いを通して、地域の人と一緒に楽しく活動することができました。

今年、高校を卒業した私たちですが、それぞれの進路に向かってこれからも頑張ります!



12期生
高平 里菜さん



12期生
河野 琴美さん

地域に支えられて

活動を支えていただいている数多くの地域団体の一つである「つぶらの会」の皆さんからメッセージをもらいました。



▲つぶらの会の皆さん

高齢者の人を対象とした昼食会などでボランティアをしています。ジュニアボランティアのみんながソーラン節を披露してくれたとき、場がとっても華やかになったのが印象に残っています。私たちボランティアも元気をもらっているんですよ。

「思いやりと感謝の気持ちを」

ジュニアボランティア体験事業の立ち上げに深く関わられた元旭区民生委員児童委員協議会会長の大越 由美子さんと前主任児童委員連絡会代表の鈴木 敦子さんに当時のお話を伺いました。

●事業を始めたきっかけを教えてください。

介護保険制度が始まった平成12年、改めて未来を担う子どもたちにも目を向けるべきなのではないか、との思いが高まり、私たちにも何かできることがないかと考えた結果、この事業を始めようと思いました。初めての取り組みなので、民生委員の役員は何度も小学校に足を運び、学校への説明を重ね、連携を図りました。最初の年が終了した時に、当時の校長先生から「来年もお願いします」とおっしゃっていたことが今でも忘れられません。(大越)



▲赤い羽根共同募金活動

ジュニアボランティアってなに？

地域の小学生が、民生委員・主任児童委員と一緒に地域の福祉活動、地域活動に参加することで、福祉やボランティア活動への関心と理解を深めるという取り組みです。

【対象者】区内の市立小5・6年生(申込制)※今年度の募集は終了しました。

【活動内容】民生委員・主任児童委員と、赤い羽根共同募金、保育体験、高齢者との交流、防災訓練、地域行事への参加など

【参加人数】毎年約300人が参加。

昨年参加して、募金活動などいろんな体験ができて、とても楽しかったです。今年も楽しみです！



20期生
池田 賢太さん

多くの人に支えられ、20年という節目に立ち会えたことをとても嬉しく思います。これからも子どもたちが大きく羽ばたくきっかけとなるよう、これまで受け継がれてきたこの事業を、子どもたちと共に大切にしていきたいと思ひます。



旭区民生委員
児童委員協議会
会長 峰松 雅子さん

旭区主任児童委員
連絡会
代表 入江 ゆきよさん

8月から12月まで、子どもたちと一緒に福祉活動に取り組んでいます。

今に生きています



当時を振り返ると、保育体験など楽しい思い出ばかりでした。その体験がきっかけで、改めて私は子どもが好きなんだと思ひ、幼稚園教諭の道に進みました。

勤務して4年ほどたちますが、子どもは、思った以上に周りを見ていることに気付きました。これからボランティアなどで保育体験をする機会があったら、ぜひ一緒に楽しんであげてくださいね！



7期生
大島 えみ子さん

ジュニアボランティア体験を通して、困っている人の気持ちや大変さを知り、その人の目線に立ってみる大切さを知ることができました。

その後、福祉を学べる高校に進み、大学では、障害のある人をサポートするボランティアをしました。今は、発達障害のあるお子さんや環境への障害を感じている人へアプローチする仕事をしています。これからも相手の気持ちを大切に、自らのスキルを向上させ、いろいろな人との対話を大切にしていきたいです。



1期生
波多野 美穂子さん

育んでほしい」という願いを込めて…

●当時を振り返ってみていかがですか。

初めての試みで、民生委員・主任児童委員同士、試行錯誤しながらの活動でした。また、子どもたちがけがをしてはいけなと、とにかく必死でした。でも、時を経て今、当時の子どもたちの感想文を見ると、相手の声に耳を傾ける子どもたちの姿が目につく、改めて頑張ったなと思ひました。協力してくださった学校、地域、施設の皆さんには大変感謝しております。(鈴木)

●子どもたちに向けてメッセージをお願いします。

今回コメントを寄せてくれた皆さんのように、この経験が、子どもたちの心のなかに残るものであったらいいなと思ひます。これからもたくさんのお子さんがジュニアボランティアを通して、困っている人に優しく手を差しのべられる人になってくれたら嬉しいです。(大越)



由美子さん

▲鈴木 敦子さん

民生委員・児童委員とは？



民生委員・児童委員は、誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、住民の相談相手、見守り活動や子育て支援を行っています。

現在旭区では、約300名の民生委員・児童委員が日々地域のために活動しています。民生委員・児童委員は、地域から推薦され厚生労働大臣から委嘱されます。本年は、任期満了に伴い、12月に一斉改選が行われます。各地区、ご協力をよろしくお願いいたします。